

令和7年度第7回総合計画審議会委員からの事前意見一覧

資料7

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
1	⑦事前意見	資料3	協働プロジェクト全般	渡邊ちい子	関連する個別施策が分かるようにしていただくとともに、個別施策にも、協働プロジェクトにも記載がある旨を明記いただくとわかりやすいように思います。
2	⑦事前意見	資料3	協働プロジェクト全般	渡邊ちい子	第1期計画中は、年度ごとの記載で具体的な進捗が見えるのはよいと思いますが、第2期については、その時点での修正も入るでしょうし、1年ごとに分けても、年次の進捗まで明確に書かれた事業は少ないように思います。第1期部分をもう少し幅を広げ、第2期は4年分を一つのセルでまとめて書いていただく方が見やすいのではないかと感じました。
3	⑦事前意見	資料3 P6	協働プロジェクト 3こども未来共創	渡邊ちい子	リード文について 「利害関係者」の文言は、「ステークホルダー」の言い換えかと推察しますが、こどもにとっての「利害関係者」というのは少し違和感があります。また、「大人」は主に保護者を想定したものとも思いますが、「利害関係者」との関係性もわかりにくいように感じます。例えば「周囲の大人や多様な関係者」とするのはどうでしょうか。
4	⑦事前意見	資料3 P6	協働プロジェクト 3こども未来共創	渡邊ちい子	「意見交換や懇談会を開催する」ことはとても重要と思いますが、それ自体は手段であって、目的は団体同士のネットワーキングにあるように思います。特に線表では、懇談会の開催自体が長期的に目的化しているようにも見えます。例えば表記を「懇談会開催等のネットワーキング支援を行う」としていただいて、懇談会開催を含むより広いネットワーキング支援についてご検討いただければと思いますがいかがでしょうか。
5	⑦事前意見	資料3 P6	協働プロジェクト 3こども未来共創	渡邊ちい子	(No.4に関連して) (以下修文意見ではなくお願い) また、そうした取組みによって活動の立ち上げが増えたり、活動がより深化したりしてくると、より専門的な支援のニーズに必要性等も生じてくるように考えますし、そうした団体への伴走支援や中間支援的な役割が、ますます求められてくるように思います。 。ポツの2つ目に新たな取組の展開ある部分については、こうしたことも念頭において検討いただいているのではと思いますが、ぜひこの点注力いただきたくお願いいたします。

通しNo.	発言	該当 ページ	該当箇所	委員名	委員意見
6	⑦事前意見	資料3 P6	協働プロジェクト 3 こども未来共創	渡邊ちい子	<p>303ーポツ1つ目 前段の「～選びやすい環境整備」は主語が「市」だと思いますが、後段の「～担い手である地域団体同士や関係機関が連携し、～居場所づくりを進める」については、「居場所づくりを進める」主語が「地域団体や関係機関」と読めるように思います。ここでは、「地域団体や関係機関が居場所づくりを進める」「ための支援を（市が）行う」ということではないかと思いますので「～居場所づくりを進めるための支援を行う」などと明記される方がよいかと思いますがどうでしょうか。 （仮に、後段の主語があえて「地域団体や関係機関」なのであれば、前段と後段で主語が違うことが明確にわかるよう 前段にも主語を追記するなどして、対比をわかりやすくしていただくと読みやすくなると思います。）</p>
7	⑦事前意見	資料3 P6	協働プロジェクト 3 こども未来共創	渡邊ちい子	<p>303ーポツ3つ目 担い手不足について、市民学校等での育成も大事だと思いますが、社協などを通じた地域に既にいる人材の掘り起こしやマッチング、小田短や福祉大との連携等によるボランティアのマッチング等により即戦力を確保する仕組みについても取り組んでいただけるとありがたいです。可能であれば「～補うため、社協や大学等との連携によるマッチング機能の強化、市民学校等を活用した担い手育成講座等～」などと明記することについて検討いただけないでしょうか。</p>